



2024年2月9日

各位

会社名 スルガ銀行株式会社  
代表者名 取締役社長 加藤 広亮  
(コード番号 8358 東証プライム)  
問合せ先 常務執行役員  
総合企画本部長 佐藤 富士夫  
(TEL 03-3279-5536)

## 保有有価証券の売却等に伴う損失の計上及び 2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、コア業務粗利益が堅調に推移していることに加え、実質与信費用が減少する見込みであること、一方で、保有有価証券の売却等に伴う損失を今後計上する計画であることなどを踏まえ、2023年11月6日に公表いたしました業績予想(以下「前回発表予想」といいます。)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	81,000	14,500	10,000	49.62
今回修正予想 (B)	87,500	17,500	12,000	59.50
増減額 (B-A)	6,500	3,000	2,000	
増減率 (%)	8.0	20.7	20.0	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	92,403	13,266	10,576	56.15

2024年3月期通期個別業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	73,000	14,000	10,000	49.62
今回修正予想 (B)	79,500	17,000	11,500	57.02
増減額 (B-A)	6,500	3,000	1,500	
増減率 (%)	8.9	21.4	15.0	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	82,794	11,267	9,537	50.63

## 2. 主な修正の理由等

### (1) 政策保有株式の一部売却と有価証券ポートフォリオの再構築

当社では、政策投資目的で保有する株式について、残高削減を基本方針としています。この方針に則り、当該株式の一部売却を進めることといたしました。また、第3四半期までに進めた有価証券ポートフォリオの品質向上策についても評価損を抱えるマルチアセットファンドを中心に圧縮を追加で実施することにより、有価証券ポートフォリオの再構築を進めてまいります。これらにより通期での有価証券関係損益においては△60億円の計上を見込んでおります。

なお、有価証券運用方針に関しては変更なく、より安定的な収益構造の構築を目指し、市場環境を鑑みつつ、円債を中心としたポートフォリオを漸進的に構築していく方針です。

2024年3月期 有価証券関係損益見込み(個別)

単位:百万円

	第3四半期実績	通期見込み	増減額
有価証券関係損益※	△2,253	△6,000	△3,747

※国債等債券損益及び株式等損益の合計

(ご参考)コーポレートガバナンス報告書抜粋

#### 【原則1-4. 政策保有株式】

##### (1) 政策保有に関する方針

- ・当社は、取引先との十分な対話を経たうえで、政策投資目的で保有する株式(以下「政策保有株式」といいます)の残高削減を方針とします。
- ・当社は、取引先との安定的・中長期的な取引関係の構築、業務提携、アライアンスビジネス展開の円滑及び強化等の観点から、当社の中長期的な企業価値向上に資すると判断される場合に、政策保有株式を保有します。
- ・取締役会は、全ての政策保有株式について、保有の意義、中長期的な経済合理性や将来の見通しについて検証し、保有の適否を判断します。

### (2) 2024年3月期通期の業績予想

銀行単体において、コア業務粗利益が堅調に推移していること、また、実質与信費用が前回発表予想を下回る見込みであるとともに、上記(1)に示した政策保有株式の一部売却と有価証券ポートフォリオの品質向上を目的とした評価損の圧縮を実施する見込みであることを勘案し、連結及び個別の業績予想を修正するものです。

### (3) 配当予想について

当社では、資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討し、株主還元の充実に努めることを株主還元の基本方針としたうえで、配当政策は、配当性向30%程度を目安とした安定配当を基本方針としております。

今回の業績予想の修正により、親会社株主に帰属する当期純利益(通期)の増益等を見込みますが、当社では、現在、自己株式の取得を実施中※であり、期末末に保有する自己株式数が未確定であることなどを勘案し、期末配当予想は据え置きとさせていただきます。

なお、中期経営計画を当期初に公表して以降、株式会社クレディセゾンとの資本業務提携※など当社を取り巻く経営環境が変化していることを踏まえ、現在、中期経営計画のKPI等、計画の一部見直しを検討しており、来期初を目途に修正計画を公表したいと考えております。期末配当予想に関しては、株主還元の基本方針に則り、これらを総合的に勘案した上で決定する予定であり、決定次第速やかに公表いたします。

※2023年5月18日付公表「自己株式の取得枠設定に関するお知らせ」及び「スルガ銀行株式会社と株式会社クレディセゾンの資本業務提携に関するお知らせ」をご参照ください

【ご参考】

2024年3月期通期個別業績予想

(単位:億円)

	今回修正予想	前回発表予想	増減額
経常収益	795	730	65
コア業務粗利益(※1)	575	560	15
経費	360	360	—
コア業務純益	215	200	15
有価証券関係損益	△60	△25	△35
経常利益	170	140	30
当期純利益	115	100	15

実質与信費用	△10	40	△50
通常発生分	△50	△30	△20
予防的引当(※2)	40	70	△30
( a )	0	5	△5
( b )	40	65	△25

(※1) コア業務粗利益:投資信託解約損益の計上を見込んでおりません。

(※2) 予防的引当:投資用不動産ローンをご利用中のお客さまの一部の組織的な交渉を契機とした返済停止中の債権(a)や、貸出条件緩和債権のうち、将来の回収の正常化が見通しがたい債権(b)に対する引当

(注)上記の業績予想等につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以上